

神奈川県教育委員会教育長殿

学校教育計画(平成28年度～平成31年度)

学校名	横須賀高等学校	課程・学科 教育部門・学部	全日制・普通科
-----	---------	------------------	---------

1 学校のミッション

全日制普通科の高校として、生徒一人ひとりの学習や進路等の目標の実現に因るため、学年制によるカリキュラム・マネジメントに学校全体で取り組み、学力の育成、豊かな人間性や社会性を培い、社会的・職業的に自立することをめざした学校づくりに取り組む。

教育課程については、共通教科・科目を中心に、生徒の特性や地域・学校等の実情を踏まえながら、普通科として適切な編成を行う。

これまで、国際社会の中でリーダーシップを発揮し、社会に貢献する資質・能力を有する人材の育成をめざし、多様な教育活動に取り組んできたが、今後はさらに、生徒が自ら課題を発見し解決する力を育み、主体的で対話的な深い学びの過程を実現するための不断の授業改善の実施等、これからの時代に求められる資質・能力の育成に向けた教育活動の充実に取り組む。

また、平成28、29、30年度の3年間「理数教育推進校」として研究開発に取り組む、その成果を地域の県立高校に様々な機会を設けて普及するとともに、平成28、29年度の2年間「学力向上進学重点校エントリー校」として平成30年度の学力向上進学重点校の指定に向けて取り組む。

2 学校教育目標

社会の変化に柔軟に対応し、創造的に生きる基盤となる確かな学力、豊かな人間性や社会性、健やかな心身の調和的な育成を図る。

生徒の持つ優れた能力を引き出し、生徒が自ら課題を発見し主体的、協働的に探求する能力を育成する。

強固な意志と不屈の精神をもって、自己の高い志望を実現できる力を育成する。

国際社会でリーダーシップを発揮し、社会に貢献する資質・能力を有する人材を育成する。

3 計画作成時点での課題

○生徒一人ひとりの学習や進路等の目標の実現に因え、授業の時間と質を確保するため、教育課程の検討を進める必要がある。

SSH及び理数教育推進校、学力向上進学重点校エントリー校としての研究実践に学校全体で取り組む体制づくりを進める必要がある。

○SSHの研究テーマである「科学的リテラシーと国際性の育成」に向けて、探究活動と言語活動を活性化した授業を展開する必要がある。

教員が相互に協働して更に授業力向上の取組みを推進する必要がある。

○生徒が高い志を持ち、第一志望の進路を実現できるように、組織的・効果的な進路指導を進める必要がある。

○学習や学校行事、部活動等に熱心に取り組む生徒をサポートする視点から、支援体制を推進する必要がある。

○事故・不祥事の未然防止に向けて、実効性のある校内研修を実施するなどの取組を進める必要がある。

#### 4 4年間の目標と主な方策

	視点	4年間の目標	目標達成に向けた主な方策
1	教育課程 学習指導	<ul style="list-style-type: none"> <li>・探求的な学習活動を通して科学的リテラシーと国際性を育成するための教育課程を編成する。</li> <li>・生徒の主体的、協働的な学びへの授業改善を組織的に進める。</li> <li>・特別活動等への生徒の主体的な取組を推進する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・SSH及び理数教育推進校としての実践研究を組織的・計画的に進める。</li> <li>・アクティブラーニングの視点を取り入れた授業実践に向けて、教員研修会などを組織的・計画的に推進する。</li> <li>・生徒の主体的、参画型の特別活動を推進する。</li> </ul>
2	(幼児・児童・) 生徒指導・支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>・個々の生徒に応じた支援体制の充実を図る。</li> <li>・部活動を通して、生徒の生きる力を育成するとともに、学習・進路活動との調和を図る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・個別面談等を活用して生徒一人ひとりのニーズを把握し、共有化を図るとともに、多様な支援体制の充実を図る。</li> <li>・部活動、学習、進路活動のバランスを図る。</li> </ul>
3	進路指導・支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒が社会との関連の中で、自らのキャリア発達を主体的に考える指導の充実を図る。</li> <li>・生徒の第一志望実現に向けた進路指導体制の充実を図る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・進学先をイメージさせる指導を工夫する。</li> <li>・講習や夏季・冬季のセミナーなど生徒の学習支援の充実を図る。</li> <li>・模擬テストの結果分析等を的確に行い、進路指導の充実を図る。</li> </ul>
4	地域等との協働	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域等との連携を深め、信頼される学校づくりを推進する。</li> <li>・地域の教育力を活用するとともに、地域に貢献する教育活動を充実させる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教育活動の公開を活性化するとともに、生徒の地域活動への積極的な参加を促す。</li> <li>・地域の研究所や事業所と連携してSSHの教育活動を展開するとともに、成果発表を行う。</li> </ul>
5	学校管理 学校運営	<ul style="list-style-type: none"> <li>・すべての職員が教育環境の変化に柔軟かつ迅速に対応し、積極的に課題に取り組む組織づくりを進める。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新たな教育情報の収集と共有化を推進する。</li> <li>・職員研修を充実させる。</li> </ul>